

開 会 挨拶

座長 中村 信一

開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームでは、これまで、「地方創生」をテーマとした議論などを行い、その結果を地域に向けて発信してまいりました。

さて、昨年以来の、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、世界的に経済社会への負の影響を及ぼすとともに、社会のシステム、人々の生活にも大きな変化をもたらしました。

特に大きな変化の一つとして、テレワークの浸透がございます。多くの企業がテレワークを実施し、働く場所や時間に縛られない、様々なライフスタイルに応じた柔軟な働き方が広がりました。また、それにより、人々の意識や価値観にも大きな変化がみられています。

これまで、北陸はじめ全国の各地方では、若年層を中心に都市部への人口流出が長らく続き、そうしたことが地方の活力を失う大きな原因ともなっていました。そうした中、コロナ禍、そしてテレワークの進展は、人々に生活や働き方の在り方を考え直すきっかけを与え、若い世代を中心に、地方での暮らしに価値を見出す都市部の人々も増えてまいりました。

テレワークを活用し、全国どこにいても東京にいるのと同様の仕事ができるようになり、多様な選択が可能となってきました。このような中、これまでの一極集中の流れの転換と、地方への新たな人の流れの創出に向け、国においても各種支援策を実施し、各地方においても様々な取組みが行われています。

北陸地域においても、豊かな自然環境や良質な生活環境などを強みとして、如何に新たな人の流れを呼び込むか、また、アフターコロナにおいてもその流れを持続させるため、このような魅力的な地域資源を如何に活用していくかが重要になってくるものと思われまます。

本日のプラットフォームにおいては、北陸地域に人の流れを呼び込むため、地域資源をどのように活用し、どのように磨き上げていくかにつきまして、色々と議論いただければと存じます。

メンバーの皆様方には、本日も、積極的・活発な御発言をお願いしまして、簡単ではありますが、座長挨拶といたします。

以上